

入選

「水」への感謝忘れない

高岡市立牧野中学校 二年 石灰 大晟

僕が住んでいる富山県は、自然が豊かです。水もきれいで、蛇口から出る水を毎日当たり前のようにおいしく飲んでいきます。富山県の水がおいしいことは誰もが知っていることですが、なぜおいしいのかを深く考えることはなかったのです。これを機会に調べてみました。

三千メートル級の山々が連なる立山連峰。その立山の雪解け水による雪のダムや森林のダムが浄化作用として機能していることや、水源から流れる河川が急勾配で流れが速く、途中で汚染されにくいことが富山の水がきれいでおいしい理由だと分かりました。また、富山県は水道普及率が九〇パーセントを超えており、ほとんどの家庭では水道の水をおいしく飲むことができます。雪や緑のダムが機能していること以外にも、水道水には酸素やミネラルを適度に含んでいることがおいしさの秘密だと知りました。

昨年、家族で黒部ダムに行きました。途中、ロープウェイから大きな黒部ダムを見下ろし、美しい景観を眺めていると、とても豊かな気持ちになり、富山県に生まれてよかったですと実感しました。念願の観光放水を間近で見た時には、その迫力に圧倒され、言葉が出ませんでした。貯水量二億トン、五四五・五メートルの落差で水が放流される黒部ダムは、富山県を象徴する場所でした。しかし、この立派な黒部ダムが完成するまでには、七年という年月と多くの人の苦労があったことも知りました。想像を超える大変な作業で、一七一名の作業員が亡くなったことも忘れてはいけません。

富山県の水はきれいでおいしいと言われる現在ですが、過去にはこの美しい水が汚染される出来事もありました。四大公害病の一つであるイタイイタイ病です。イタイイタイ病は、神岡鉱山から排出されたカドミウムが神通川に流され、その水が生活用水に行き渡ったことで起きた公害病です。イタイイタイ病を発症すると身動きが取れず、呼

吸ができないほどの痛みがあり、食事をすることができずに亡くなった方もたくさんいます。何より驚いたことは、被害者であるにもかかわらず差別され、人生が台無しになったことです。僕が住む富山県で起きた事実を忘れず、これからも富山県の水はおいしいと言われるように、一人ひとりが川を汚さない行動をとることが大切です。

また最近気になるニュースがあります。富山県での用水路事故が増えていることです。全国的に見ても富山県は用水路での死亡事故が多く、その多くは高齢者です。僕の祖父母は立山町に住んでいて、家の周りには田畑が一面に広がっています。もちろん用水路も多く、流れも速いです。七〇代後半になり、現在も畑仕事を続けていますが、足腰が弱くなってきたので心配です。以前、祖父母の家に行き、畑仕事を手伝っている時、祖母が用水路を何度もまたいでいる姿を見ました。富山県は農業が盛んなため四方八方に用水路が張り巡らされており、日頃の習慣から用水路をまたぐ場面も増えます。その結果、用水路に転落してしまい、最悪の場合命を落としてしまいます。水は必要不可欠なものです。危険もひそんでいます。祖父母には、安全に楽しく畑仕事を続けほしいので、用水路の危険を繰り返し伝えていきたいと思えます。

富山県に住む僕は、生まれたときから好きなだけおいしい水を飲んだり、使ったりできる環境で育ってきました。しかし、黒部ダム工事で亡くなった方やイタイイタイ病で苦しんだ方々のことを知り、水の大切さやありがたさを考えさせられました。普段穏やかな河川が、急に変貌して人の命を奪うこともあります。僕はこれからも水と上手に付き合い、自然の恵みへの感謝と自然災害への備えを常に考えて生活していきたいです。